



## 年頭のご挨拶

平成30年の新春を迎え、心からお喜び申し上げます。

公立病院開設者として、謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。

さて、時の流れは早いもので、私が病院開設管理者に就任しまして、二度目の新春を迎えました。下田メディカルセンターの業績が、私の管理者就任と時を同じくして、著しい改善が図られ、現在も継続中との報告を受けましたことを大変喜ばしく感ずるとともに、ひとかたならぬご労苦に感謝いたします。

また昨年4月には、地域における少子化対策の一環として、公立病院が行う公益性の高い病児保育事業「病児保育施設【かるがも病児保育室】」を圏域内で初めて開設できたことは、高く評価されるべきものと確信しております。これらもひとえに、指定管理者であります医療法人社団静岡メディカルアライアンスの医師をはじめとする地域医療に携わるスタッフ皆様の努力、並びに医師派遣の継続を頂く静岡県の厚志の賜物と言って過言ではございません。

一方、国の医療政策に目を向けますと、平成27年3月に総務省により「新公立病院改革ガイドライン」が示されたことにより、過去連続して病床利用率が70%未満の病院にあっては、地域の医療提供体制を確保しつつ、病床数の削減、診療所化、再編・ネットワーク化、経営形態の見直し、再度抜本的な見直しを検討しなくてはならない、さらなる改善努力を求められているなど、危惧すべき公立病院をとりまく現状がございます。

これを受けまして、当院も抜本の見直しを行わなければならない病院に該当することから、改善プランとして一部事務組合で昨年に策定しました「下田メディカルセンター経営改善計画」では、さまざまな具体的な数値目標を掲げ、遂行していただいているところではありますが、各々の目標を必達するには好調を維持し、更なる経営改善努力と関係機関等からの協力が必要となってまいります。

安易に地域医療の規模を縮小させることのないよう、また、来訪者が安心して訪れられる地域たることを念頭におき、指定管理者ともども創意工夫を重ねながら、改善計画遂行に精進してまいりますので、どうかご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、関係各位の御健勝と御活躍を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。



一部事務組合下田メディカルセンター 病院事業管理者 下田市長 福井 祐輔



# 新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

皆さまには穏やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、旧年中に当院に賜りましたご厚誼に厚く御礼申し上げます。

昨年、当院は「断らない救急」の実現に引き続き努めると共に、心臓カテーテル検査を賀茂圏域で初めて実施するほか、眼科手術体制の強化を図り、多くの方にご利用いただきました。また、慢性期医療におきましては、在宅医療に懸命に取り組んでおられる開業医の先生方への支援策として、「地域包括ケア病床」を16床に増床致しました。外来は、3医院の閉鎖、休診の影響もあり、患者数がかなり増加致しました。特に整形外科は、予約が取りづらいとのご指摘を受けましたので2診体制と致しましたが、本年も何とか2診体制を維持すべく努めて参ります。急性期、慢性期を問わず、地域の医療で足らざる部分に可能な限りお応えすることが公立病院の使命との認識の下、糖尿病専門医による診療等、新たな各種施策にも取り組んで参る所存です。

当院の果たすべき任務が拡大の一途の中で、これまでの医師不足に加えて、看護師、作業療法士等、多くの分野で人材不足が顕著となって参りました。法人上げて人材確保に懸命の努力を致しておりますが、思うような成果を上げるには至っておりません。皆さまには、旧年に勝るご支援、ご鞭撻を本年もお願い申し上げますと共に、人材確保の面でもご支援いただきたく、重ねて宜しくお願い申し上げます。

下田メディカルセンター 病院長 畑田 淳一



# 年頭の辞



皆様穏やかなお正月を迎えられたと思います。常日頃当園の運営御協力賜り、有難うございます。

当園は旧共立湊病院に併設され、「手から手へ、心から心へ」の理念の下、設立から17年目を迎えます。当初より専門棟(認知症中心)とデイケア(理学療法士によるリハビリテーション)も展開しております。在宅強化型(ご自宅への復帰を中心)施設で、年間約240名の入退所を数え、要介護度の重度の方も約40%在園致しております。下田メディカルセンターからだけでなく、当地の病院や医療機関から御紹介を頂いております。但し要介護の高齢者は多病息災の為か、併発症や転倒される等で、協力病院となる下田メディカルセンター畑田淳一病院長を始めとする

多くの皆様には大変お世話になっております。

本春には当地区に新たな高齢者施設が開設される予定です。本園も理念の徹底や利用者様への接遇の向上等に各々の職員が取り組み、住民の皆様が癌や大病等での後遺症や認知症に成っても当地で安心して過ごせるように尽力して参ります。

今後とも宜しくお願い致します。

介護老人保険施設 なぎさ園 施設長  
丸山 裕司





# 新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。  
皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年から下田市の災害医療体制連絡会に出席するようになり、通常の診療以外にも災害時の救護所担当医として対応が必要なことを再認識しました。

賀茂地域は均てん化も難しく、白浜地区においても大規模災害発生時は、一時的に無医状態に陥る可能性があります。そんな時どうしたらよいのか、今までは想像すらしていませんでした。

白浜は通り慣れた親しみのある土地ですし、下田は私にとって第二のふるさとです。その下田と、歴史的・文化的・経済的に同一性があり、日常生活においても関係性が深い近隣の5町にも、同様にふるさと意識を持ち、地域密着の理念に基づき、かかりつけ医として医療提供に邁進してきました、結果、多少ながら地域医療に貢献できていると思いついていました。しかしながら、災害医療体制連絡会を通じ、1人ではできることは限られていて、行動したくてもできない事が数多くある事実と地域連携が重要なことを改めて思い知らされました。

当法人が指定管理者を務める、下田メディカルセンターは、地域の在宅医療・介護連携推進支援センターの業務を県から受託しています。そして県は、シズケア・かけはしなどのSNSを活用し情報の共有化を推し進めているので、この環境を享受し、「地域連携推進」のために、目の前のできることにひとつずつ取り組んでいく所存です。本年も、宜しくお願い致します。

しらはまクリニック 院長 高橋 泉



## 賀茂地区在宅医療・介護連携推進支援センター 新年のご挨拶 並びに 平成30年度の取り組みについて

謹んで新年のお祝いを申し上げます。旧年中は在宅医療・介護連携推進支援センターの事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当支援センターも1市5町より「在宅医療・介護連携推進事業」の委託を受け、早や1年半が過ぎました。試行錯誤しながらの取り組みではありましたが、在宅医療と介護の連携や地域住民の方への普及啓発が、少しずつ型になって参りました。これもひとえに1市5町、賀茂健康福祉センターの職員の皆様をはじめ、地域の医療機関・介護・福祉に関わる関係者の皆様のお力添えによるものと感謝申し上げます。

本年は「医療・介護関係者の研修」「地域住民への普及啓発」につきましては、看取り、認知症の他、口腔ケアの勉強会・普及啓発にも力を入れて行きたいと考えております。「医療・介護関係者の情報共有の支援」では県医師会が進めている情報ネットワークシステム[シズケア・かけはし]の普及に向け、事例検討会を各ブロック単位で進めていきます。また当支援センター事業が多くの皆様に周知できますよう、ホームページの作成、チラシの配布も検討して参ります。

また、昨年10月より杉山孝二、金指恵の2名を新たに支援センター員に迎え、当地域に即した域包括ケアシステムの構築めざし、更に充実した事業となるよう取り組んで参る所存です。本年も引き続き変わらぬご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

賀茂地区在宅医療・介護連携推進支援センター 相談員 木村 健吾



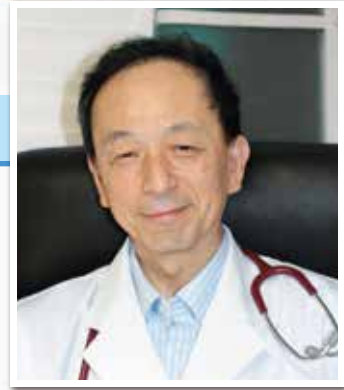


# 中江医院 院長 中江 順 先生

〒410-3611 賀茂郡松崎町松崎367

診療科目 内科、小児科、消化器科

☎0558-42-0025



診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	—	—
14:00~17:00	●	—	●	—	●	—	—	—

受付時間  
午前11:30迄  
午後16:30迄



入口は2か所。



今回は松崎町で開院されています。中江医院をご紹介します。

住民の方に親しまれ地域医療に貢献されている院長中江順先生に、ある一週間の様子を振り返って頂きました。

土曜日。第2・第4土曜は休診である。この日は午前中に税理士さんと打ち合わせがあった。午後からは訪問診療。供はつかず一人で、83歳(男性)は脳出血後遺症で車椅子生活。診察後インフルエンザワクチン接種。次は37歳ライ症候群による脳性麻痺の女性。数年前にひどいインフルエンザで入院した事があり。ワクチン接種。80歳大脳基底核変性症女性。右半身不随意運動あり。ワクチン接種。次は93歳ひどい変形性膝関節症と慢性腎不全、腎性貧血の女性。ネスブ注射、ワクチン接種。最後に意識障害を繰り返す97歳女性。15年近く訪問してきた。最近では入退院を繰り返して、帰ってきたばかり。この二日ほど飲食が極端に減っている。バイタルサイン良くない。自宅での看取り希望。緊急時の対応を家族と相談。

日曜日午後、昨日の最後のお宅から呼吸が危ないと連絡。往診し看取りを行った。死亡診断書を作成し家族に渡す。亡くなった方のご主人、妹も往診していて皆いなくなりました。今年自宅で看取った方は9人。

月曜日。先週土曜日が休診だったので通常の診察が多い(77人)上にインフルエンザ予防接種の希望者も多く57人に接種。嘔吐症が出始めている。丸山ワクチン接種3人。

火曜日。外来は午前のみ27人。午後は雲見の96歳、石部の92歳、球麻酔型ALS78歳。腰部脊柱管狭窄症手術後遺症79歳、90歳と85歳の視力障害夫婦を訪問診療。水曜日。外来は58人、インフルエンザワクチン接種66人。

木曜日。発熱、咳の4歳児、右肺の呼吸音減弱し動脈血酸素飽和度も92%と低い。下田メディカルセンターへ紹介した。RSウイルス感染症であった。素早い対応に感謝。また、78歳早期胃がん術後患者が労作時息切れで来院。エコーにて心嚢液貯留あり。岡村記念病院へ紹介。インフルエンザワクチンが底をつき明日から接種できない。この2週間で500人接種した。(例年は11月、12月で900人強)次回入荷は12月10日で20人分ほどしか来ないと連絡あり。午後から訪問診療。火、木、土曜の午後に時間をとっている。対象者は65名。

金曜日。受診者は82人。西伊豆中学2年クラスがインフルエンザで学級閉鎖になったとの事。クラブ活動で県東部に行き感染したらしい。3年生の発熱者にインフルエンザ迅速検査(富士ドライケム)を行ったが陰性であった。数年前に私自身がインフルエンザに罹り、5日間入院したことがあり、ワクチン接種、マスク着用、手洗いをスタッフ共々心がけ、うつさない、うつらない様努力している。

訪問診療にも力を注いでいただいている中江先生。そのお人柄が伺えます。今後とも宜しくお願い致します。

## 地域医療連携室よりご挨拶

静寂の中に鐘の音が響き、平成30年希望に満ちた新年を迎えました。ここに皆様のご清祥を念じ上げます。

さて、本年の干支は戌(つちのえ・いぬ)。戌は、山や堤防などの動かない土を表し、戌は、勤勉さや努力家という意味があるそうです。本年5月には下田メディカルセンターは開院して6年になります。この間、地域の拠点病院として医療また介護・障害福祉、また行政機関の関係者の皆様には格別のご高配を賜り、微力ながらも地域医療連携に室員一同奮闘努力しその強化に努めて参りました。今年は干支の如く、これまで培ってきたものを土台に大地に根を下ろし、なお一層の努力・精進をして、地域の皆様に安心して任せ頂ける病病・病診連携を目指して参ります。本年も相変わらぬご指導ご鞭撻賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

医療ソーシャルワーカー 木村 健吾

皆様には、健やかに新春を迎えられたこと、お慶び申し上げます。また、日頃から温かいご支援ご協力を賜り、心からお礼申し上げます。本年もスムーズな地域連携に向け、室員一同丸となりサービス向上に尽力して参りますので、昨年同様、ご指導の程よろしくお願いたします。本年もワンタフルな一年にしましょう。

医療ソーシャルワーカー 神取 千江里

新年あけましておめでとうございます。昨年は多くのご紹介を賜り、誠にありがとうございました。またイベントセミナー、広報誌へのご協力頂きました感謝申し上げます。本年も昨年より一層、顔の見える医療・医療連携の推進に努めていきたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。

地域医療連携室 事務員 土屋 陽香

## 賀茂地区在宅医療・介護連携推進支援センターよりご挨拶

新年あけましておめでとうございます。昨年中は賀茂地区在宅医療・介護連携推進支援センターの業務にご理解、ご協力いただきありがとうございます。昨年10月より支援センターを担当させていただいております。これまで以上に様々な視点から在宅医療・介護連携に努め、さらに進めていきたいと思っております。本年も皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

支援センター員 杉山 孝二

新年あけましておめでとうございます。昨年の秋より支援センターに勤めております。多職種連携に向けた賀茂地区の医療・介護等専門職の勉強会等をわかりやすくお伝えできるように努めて参ります。地域住民の皆様への普及啓発活動を進めるために、少しでも力になれるよう、私自身も勉強していきたいと思っておりますので、宜しくお願い申し上げます。

支援センター 事務員 金指 恵

発行

### 下田メディカルセンター

〒415-0026 静岡県下田市6丁目4-10

TEL.0558-25-2525 FAX.0558-25-5050

http://www.s-m-a.or.jp/shimoda/

発行責任者 地域医療連携室長 小野寺 晃

伊豆急下田駅から徒歩10分圏。路線バスのバス停目の前にあり、電車やバスでスムーズに来院いただけます。また、敷地内に300台収容の駐車場を用意しております。



SHIZUOKA MEDICAL ALLIANCE  
医療法人社団 静岡メディカルアライアンス 運営施設

みなとクリニック(外来)  
〒415-0152 静岡県賀茂郡南伊豆町湊674  
TEL.0558-62-0005

しらはまクリニック(外来)  
〒415-0012 静岡県下田市白浜1528-2  
TEL.0558-27-3700

なぎさ園(介護老人保健施設)  
〒415-0152 静岡県賀茂郡南伊豆町湊674  
TEL.0558-62-6800

海老名ケアサポートセンター  
(今里クリニック・介護住宅事業所・サービス付高齢者向け住宅)  
〒243-0423  
神奈川県海老名市今里一丁目10番12号  
TEL.046-232-0606